

# 地方創生インターンシップ事業の 推進に向けて



OKAYAMA



2016年10月11日  
岡山県知事 伊原木隆太

# 岡山県の高校卒業後の大学への進学状況

約6割が  
県外大学へ進学！

8,799人が  
大学へ進学  
うち  
3,814人が  
県内大学へ

4,985人が  
県外大学へ進学  
〈内訳〉  
・首都圏(1都3県)へ  
778人  
・関西圏(2府1県)へ  
1,740人

県外から  
5,185人が  
県内大学へ

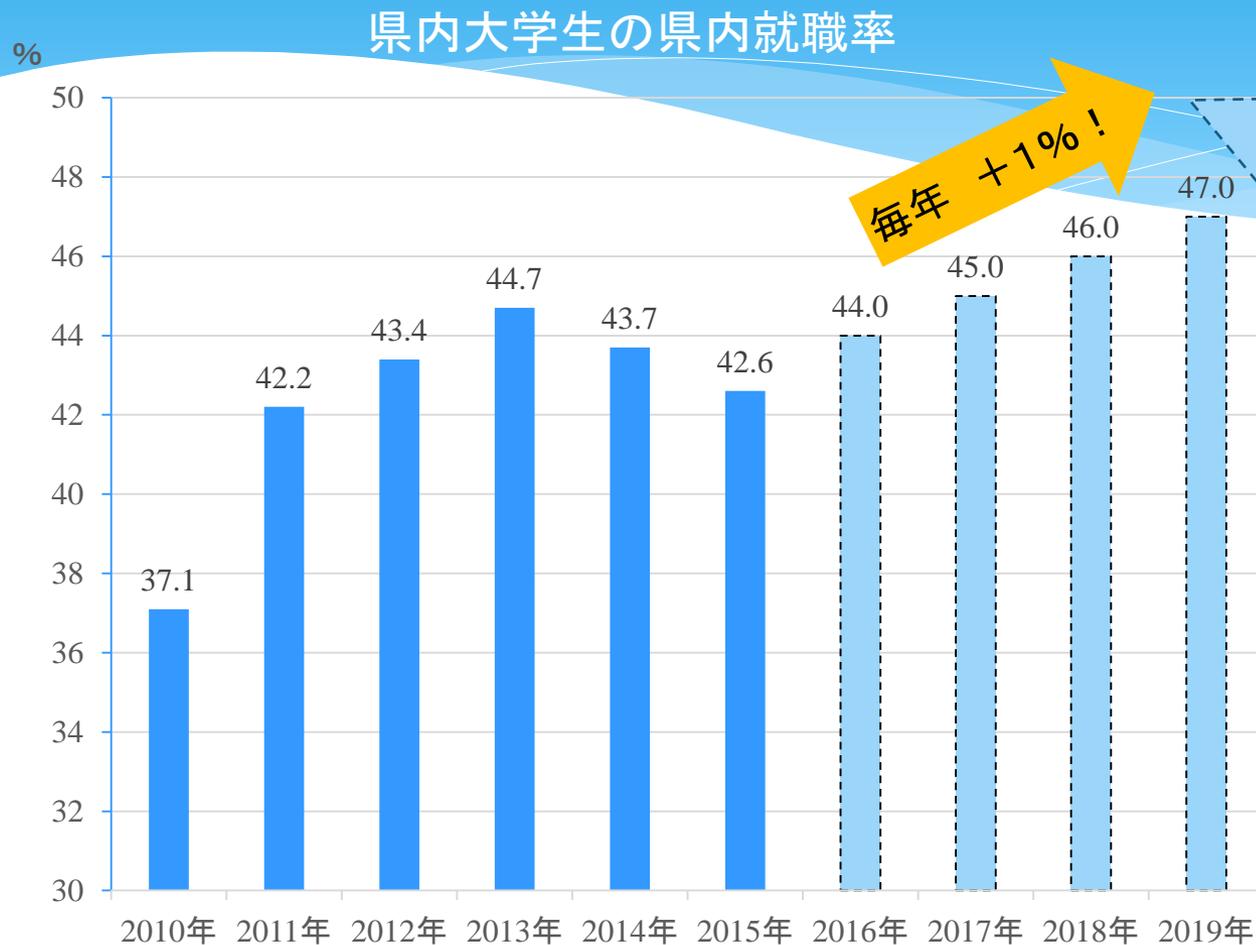
## 大学の数

17校

| 学部内訳  | 学校数 | 学生数     |
|-------|-----|---------|
| 文系    | 12校 | 15,348人 |
| 理工系   | 4校  | 11,228人 |
| 医・歯・薬 | 6校  | 7,706人  |
| その他   | 4校  | 3,344人  |
| 合計    | -   | 37,626人 |

平成27年度学校基本調査より

# 県内大学生の県内就職状況



「おかやま創生総合戦略」の推進による産業振興と雇用創出の好循環でアップをめざしています！

出典：岡山労働局「新規学校卒業者の就職決定状況」

# 県内への就職に向けて

県外学生の声「地元の  
企業情報が少ない・・・」



県内学生  
向け

県外大学生等のIJUターン就職支援

東京・大阪での合同企業説明会

県内大学生等の地元企業就職支援

県内大学と連携した合同企業説明会

県外学生  
向け



企業人材確保支援センターによる就職支援



企業見学バスツアー

貸し切りバスで企業訪問

**インターンシップの推進**

夏期休暇等を活用したインターンシップ



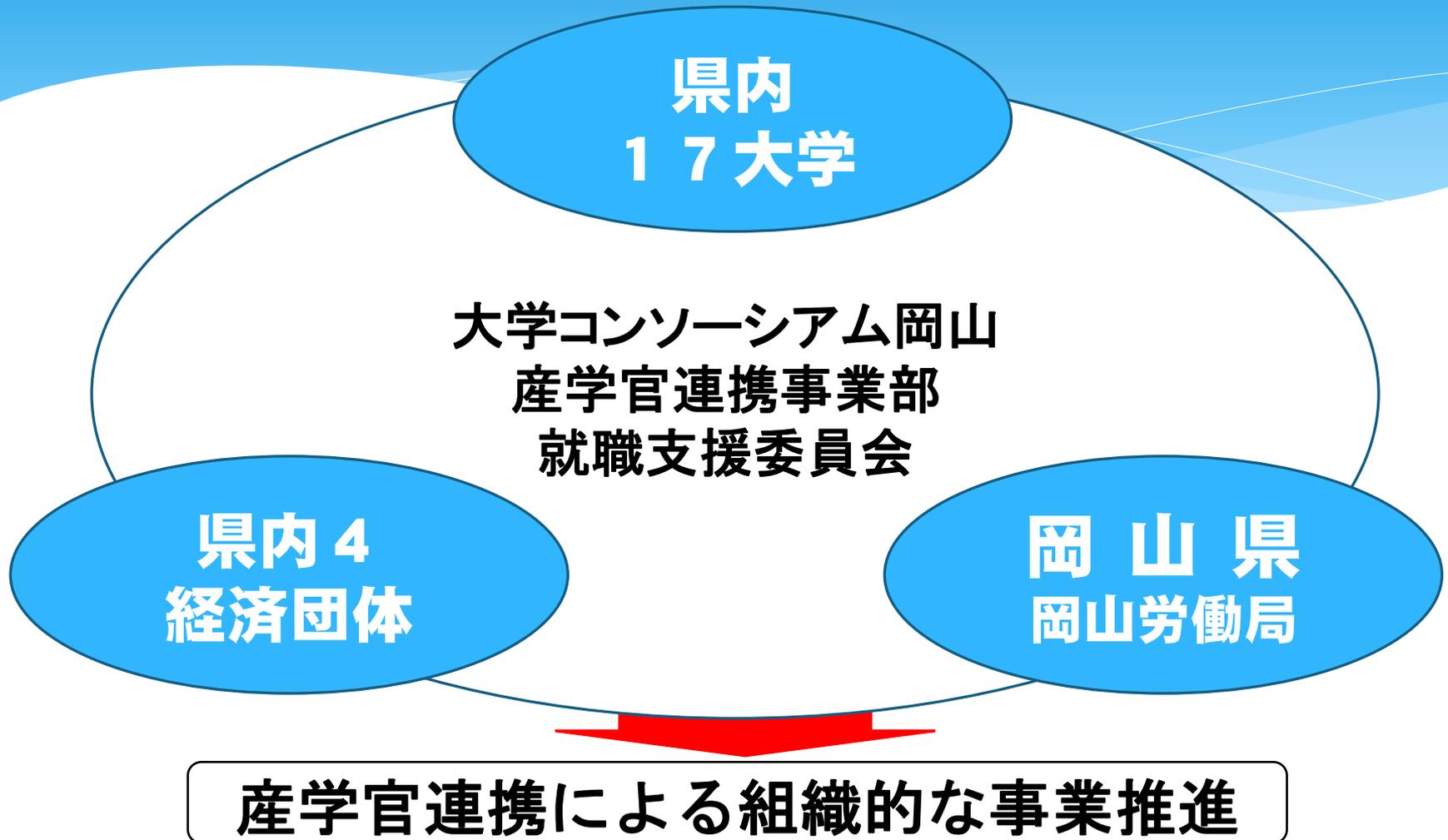
県内企業の声「学生からの  
アプローチが少ない・・・」

# 首都圏・関西圏学生のUターン就職に向けて

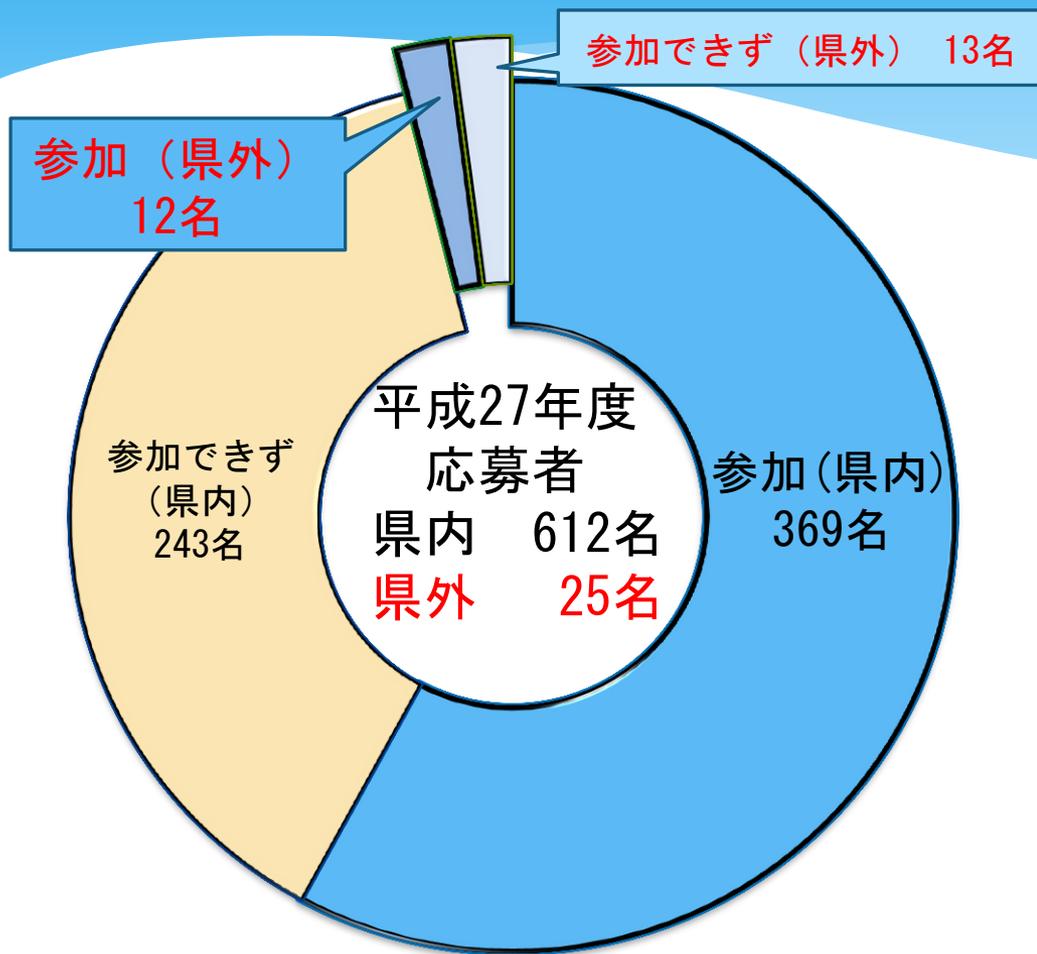


学内Uターン就職ガイダンス等へ参加して学生の相談に対応

# 岡山県のインターンシップ事業推進体制



# 岡山県のインターンシップの現状と課題



## 課 題

- ① 県外学生の参加が少ない！
- ② 参加希望学生全員が体験できていない！

# 課題の解決に向けて

## 交付金を活用した事業を展開！

### ① 県外学生の参加を増やす！

- ・企業参加による県内外でのマッチングフェアやガイダンスの実施

### ② 受入企業を増やす！

- ・企業に合わせた効果的な受入プログラムの研究
- ・実施を促すためのセミナーやフォーラムの開催

企業と学生の接点が増加！

学生に対する県内企業情報の提供機会が拡大！

県内企業の魅力をも多くの学生が発見！

県内企業への就職促進につなげる

**「地方創生インターンシップ事業」によるさらなる加速化と好循環を大いに期待!!**

# 地方への人材還流をさらに加速するために①

## I 地方創生インターンシップ事業への期待

### 1 学生に対して

- (1) 地方インターンシップの効果的なPR
- (2) 参加希望学生と地方との接触の実現

### 2 大学に対して

- (1) 学生へのきめ細かな参加呼びかけや相談対応
- (2) 参加学生に対するインセンティブの検討・創設

### 3 企業に対して

- (1) 地方インターンシップへの積極的な参加呼びかけ
- (2) 学生が興味を持って参加できるプログラム紹介

# 地方への人材還流をさらに加速するために②

## Ⅱ 国への期待

### 1 学生・大学に対する支援の検討

- (1) 学生の参加を促す制度(単位化や必須化)の創設
- (2) インターンシップの推進を行う大学に対するインセンティブの検討

### 2 企業に対する支援の検討

- (1) 地方の中小企業が受入体制を整え、積極的にインターンシップへ参加できる環境整備への支援や、学生を受け入れることへの特典を創設
- (2) 長期インターンシップや有給インターンシップに取り組む中小企業に対する支援の創設